

# 感染症対策、防災関連など補正予算可決 日本共産党も賛成

県議会本会議が 9 日開かれ、新型コロナウイルス感染症対応事業として 4 6 億円、防災・減災関連の公共事業に 1 0 1 億円など、合わせて 1 6 7 億円の 2 月補正予算を全会一致で可決しました。

補正予算には、児童福祉施設や介護施設等における感染拡大防止対策支援や、生活福祉資金の特例貸付、特定不妊治療費助成、畜産競争力強化整備などが含まれています。公共事業には、水害対策 2 8 億円、土砂災害対策 2 0 億円などが含まれています。

また、八ッ場発電所（年間発電電力量 一般家庭約 12000 軒分）の設置や上武ゴルフ場を廃止する条例改正が行われました。

さらに、「第 83 回国民スポーツ大会（現：「国民体育大会）」及び「第 28 回全国障害者スポーツ大会」の群馬県での開催が 2029 年度に 1 年延期となることから、基金条例が改正されました。

## ゆきとどいた教育をすすめる会が署名提出

群馬県ゆきとどいた教育をすすめる会は 9 日、萩原涉県議会議長に 15260 筆の請願署名を提出し、懇談しました。日本共産党県議団が同席しました。

加盟団体から、コロナ禍のもとでの子どもたちの現状や、県が小中学校全学年で少人数学級に踏み切ったことへの評価、教員増の願いなどが語られました。

